



# 県労連情報

発行  
2021年  
5月17日  
42-⑨

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市高田276-8県労連会館 TEL026-223-1683 Fax026-227-1783

✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/



## 最賃引き上げを求める自治体請願・陳情の採択広がる

県労連は最賃アクションプランで自治体へ意見書採択を求める取り組みを重点課題としました。全自治体への請願・陳情書提出を目指し、いままで提出していなかった地区でも近隣地区労連、県労連事務局と連携し69市町村に提出。7月2日現在、25市町村で意見書を採択しました。9月には県議会に請願を提出予定です。

地区労連	数	自治体名	結果	備考
飯水岳北	4	飯山市	×	
		野沢温泉村	採択○	
		木島平村	×	
		栄村	採択○	採択3項目（首相、厚労相、共同参画相あり）
中高	2	中野市		
		山ノ内町		
須高	3	須坂市	×	
		小布施町	審議中	
		高山村	×	
長野	4	長野市	×	
		信濃町	採択○	※賛成8（公明も賛成）、反対3
		飯綱町	採択○	
		小川村	採択○	
更埴	2	千曲市	趣旨採択	※賛成1、反対1、趣旨採択3
		坂城町	採択○	
上小	4	上田市	×	※反対＝コロナ禍、時間短縮/賛成＝コロナ/平等から必要
		東御市	×	
		長和町	採択○	
		青木村	採択○	
佐久	11	小諸市	趣旨採択	
		佐久市		
		軽井沢町		
		御代田町	趣旨採択	
		立科町	採択○	
		佐久穂町		
		小海町		
		北相木村	継続審議	
		南相木村		
		南牧村		
		川上村	継続審議	
大北	5	大町市	×	
		池田町	採択○	
		小谷村	継続審査	
		白馬村	×	※長野県内の最も人口、地方の消費税率低減と併せて人口減少率＝約30%に達
		松川村	採択○	
南安	1	安曇野市		
松本	7	松本市	採択○	※採択が「多岐な分野」（厚労省など）により、労働、教育、福祉、環境
		塩尻市	×	※採択は採択、公開採択は100%以上意見書あつたがまだ実現していない
		麻績村	採択○	★松本市・・・趣旨採択+提出○
		生坂村	採択○	
		朝日村	採択○	
		筑北村	採択○	
		山形村	採択○	

地区労連	数	自治体名	結果	備考
諏訪	6	岡谷市	趣旨採択	
		諏訪市	趣旨採択	
		茅野市	不採択	
		下諏訪町	趣旨採択	
		富士見町	趣旨採択	
		原村		
木曾	6	木曾町		
		上松町		
		南木曾町	趣旨採択	
		本祖村	採択○	
		王滝村		
		大桑村	採択○	
上伊那	8	伊那市	趣旨採択	
		駒ヶ根市		
		辰野町	×	
		箕輪町	採択○	★一部採択+提出○
		飯島町		
		南箕輪村	×	
		宮田村	採択○	★一部採択+提出○
		中川村	趣旨採択	
飯伊	14	飯田市	×	
		松川町	×	
		高森町	×	
		阿南町	×	
		大鹿村	×	
		豊丘村	×	※採択は「多岐な分野」（厚労省など）により、労働、教育、福祉、環境
		阿智村	採択○	
		下條村	×	
		平谷村	採択○	
		売木村	×	
		根羽村	継続審議	
		喬木村		
		泰阜村	採択○	※13村議選後、新議会へ提出予定（できず、9月議会へ）
		天龍村	採択○	
長野県	1	長野県		9月議会に請願予定

### 結果

提出	69	88.5%
採択	25	32.1%

## 議会デビューしました

茅野市議会の趣旨説明に出席してきました。議員からは、「なぜコロナ禍で中小企業が大変な時に、最賃引き上げなのか。」「都会と地方では忙しさが違う。賃金の差があっていいではないか。」「務台さんは1500円って言うてるの?」など沢山の質問がありました。

最低生計費試算調査について理解して頂けずに不採択となりました。来年リベンジしたいと思います！



幹事 八重田景子さん



# 県労連情報

発行  
2021年  
5月17日  
42-⑨

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市高田276-8県労連会館 TEL026-223-1683 Fax026-227-1783

✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/



**2日間でのべ1,150人が参加**

パート・派遣など  
非正規で働くなかまの

## 全国交流集会

昨年、コロナ禍で中止となった同集会、今年はオンラインで開催され、2日間でのべ1,150人が参加しました。

基調報告では、制度は前進しても、それを経営側が積極的に使うことはなく、活用できるかは、労働組合にかかっている。格差解消を課題に闘った21春闘では、時給制単純平均で14.9円の引き上げとなったとの報告がありました。その後、各組織からも公契約、20条裁判などについて報告がありました。

「ブラックバイト」の名付け親である大内裕和氏（中京大学教授）による記念講演（ZOOM）では、学生の貧困問題を中心にコロナ禍の影響が語られました。大内氏はコロナ禍によって顕在化した日本型雇用の問題について、男性の長時間労働と、パートで働き家事育児をする女性のセットで成立する生活保障システムがいまだに継続していることが原因と批判。このシステムを変えるためにも全国一律最賃1500円で、非正規でも自立生活できるようにすることが重要と強調しました。

翌日には、トークセッションや基礎講座など、8分科会が開催されました。

参加  
レポート

### トークセッション 「非正規でもまともに 暮らせる社会へ」

川村雅則（北海学園大）、大内裕和（中京大）原田仁希（首都圏青年ユニオン）、柳恵美子（全労連非正規センター・生協労連）の各氏によるトークセッションでは、まず川村氏から、非正規雇用の不安定さや賃金の低さについて問題提起がされました。柳氏からは、労働局雇用均等室を活用した均等待遇を求める取り組みの報告がありました。原田氏は、ユニオンの活動を踏まえ、現状を「労働問題」として捉えることや、「闘う労働者」を可視化することの重要性を訴えました。大内氏は、正規男性ありきのモデルが既に崩壊していることから、現役世代が年金生活に入る前に、最賃1500円を実現するための戦略工程表の必要性を強調しました。最後に川村氏から、社会のオンライン化で情報共有・共闘の可能性は広がっており、積極的につながりを深めていこうと呼びかけがありました。

阿藤幸太（県労連事務局）

## 主な日程

7月8日	水	長野労働局「最賃等」要請行動 長野労働局 13:30～
7月10日	土	三重と長野の青年コラボ企画 オンライン 14:00～
7月16日	金	中央最賃審 答申
7月18日	日	明るい県政をつくる県民の会「総会」 高校会館+オンライン 13:30～
7月28日	水	全労連第61回評議員会
7月29日	木	
8月5日	木	※県労連「第11回幹事会」 県労連会館+WEB 13:00～
8月5日	木	長野地方最賃審 答申
8月28日	土	長野県医労連「第56回定期大会」 J A長野県ビル12A 10:00～
9月11日	土	長野県労連「第43回定期大会」 J A長野県ビル+WEB